

POTT 研修会報告 in 三原 「口から食べることを支援するための基礎知識

ー車いすやベッド上でのポジショニングについてー



開催日時：平成 29 年 8 月 27 日(日)13:00~16:00

会場：県立広島大学三原キャンパス

主催：三原地区キネステ研究会

講師：摂食嚥下障害看護認定看護師 岡本奈緒 内山哲夫

参加者：27名（職種内訳：看護師12名、介護福祉士7名、介護士1名、介護ヘルパー1名、ケアスタッフ1名、ケアマネ1名、教員3名、その他1名）

研修概要：13:00~講義「口から食べることを支援するための基礎知識」

14:00~演習 POTT スキルチェック表を用いてベッド上ポジショニング、車いすシーティングの体験学習

【研修の振り返り】

- ・自分が実際に経験してみることで、患者の気持ちや体位などがよくわかった。
- ・実際に自分が体験することで、身体が不快に感じることや安定感などを知ることができ、とても勉強になった。
- ・食事介助、車いすでの介助も多いので活かしていきたい。
- ・車いすのタオルを使ってのポジショニングは実際に作ろうと思った。
- ・物を食べる間の体の状態・体位の仕組みを学べた。
- ・演習を通して講義の理解が深まった。

【アンケート結果】

講義、演習を通してポジショニングの大切さを皆さんに感じていただけた。私自身も認定看護師としてもっと自己研鑽を積んでいき、ひとりでも多くの患者さん、家族の笑顔に結びつけていきたいと思います。

JA 尾道総合病院

呉共済病院忠海分院

摂食嚥下障害看護認定看護師

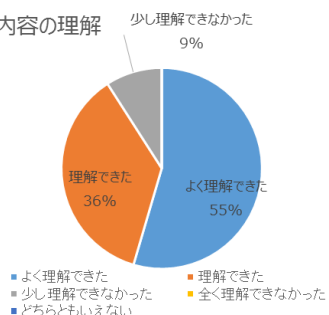
摂食嚥下障害看護認定看護師

岡本奈緒

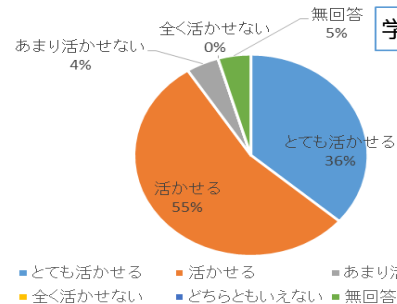
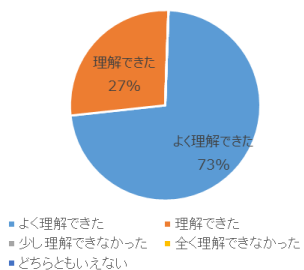
内山 哲夫

講義ののち演習を行えたことで嚥下障害とポジショニングの理解がより深まり、その意義が皆様に感じていただけたかと思います。今後とも微力ながらも食べる幸せが守られるよう尽力していきたいと思っています。

講義内容の理解



演習内容の理解



学びが活かせるか